

# 2023 Event Calendar

## 1 Jan

- 6日☞7日☞ 冬季進学講座(Ⅱ)
- 10日☞~11日☞ 成果テスト(Ⅱ2年)
- 11日☞ 始業式  
大学入学共通テスト激励会(Ⅱ)  
強化部集会  
成果テスト(Ⅱ1年)
- 12日☞~19日☞ 特別授業(Ⅲ3年)(午後)  
13日☞ 実力診断テスト(Ⅱ1・2年)
- 14日☞~15日☞ 大学入学共通テスト  
ベネッセ総合学力テスト(Ⅱ1・2年)
- 17日☞~27日☞ 第2回特別時間割(Ⅲ3年)
- 21日☞~22日☞ 全統共通テスト模試(Ⅱ2年)
- 22日☞ 第3回英語検定
- 23日☞~31日☞ 3者面談(Ⅲ3年)
- 24日☞~25日☞ 本校学業推薦入試  
26日☞ 本校一般入試・体育推薦入試
- 28日☞ 自宅学習開始(Ⅲ3年)  
第3回漢字検定
- 28日☞~2月24日☞ 第2回2次対策特別講座(Ⅲ3年)

## 3 Mar

- 1日☞ 第70回卒業式
- 2日☞~6日☞ 3学期期末試験
- 8日☞ 教科書送り状回収・写真撮影  
進学講演会(Ⅱ2年)
- 9日☞ 答案返却日  
進路ガイダンス「基礎学力到達度テストに向けて」(Ⅱ1・2年)
- 10日☞~16日☞ 春季特別授業  
10日☞ 志望理由書・自己推薦書対策講座(Ⅱ2年)
- 13日☞ 公務員受験指導(Ⅱ2年)  
専門学校受験指導(Ⅱ2年)
- 17日☞ 進学講演会(Ⅱ1年)  
スタディサポート(1・2年)
- 20日☞ 3学期終業式・離任式
- 22日☞ 新入生登校日
- 23日☞~31日☞ 自主登校(Ⅱ年)  
23日☞ 8時間耐久自学(Ⅱ年)  
自主登校(Ⅱ年)

## 2 Feb

- 2日☞ ベネッセ総合学力テスト(Ⅱ1・2年)
- 4日☞ 第4回全統高1模試(Ⅱ1年希望者)  
ベネッセ大学入学共通テスト模試(Ⅱ2年・Ⅱ2年希望者)
- 15日☞ ロハス探究プレゼン大会(Ⅱ2年理系)  
薬物乱用防止講演会(1年)
- 17日☞ 予餞会(午後)
- 18日☞ 第2回数学検定  
2学年保護者対象教育講演会
- 28日☞ 賞状授与式・卒業式予行練習

## 4 Apr

### 新2・3年生のみなさんへ 4月の行事予定

※ コロナ禍の状況により変更となる場合があります。

- 6日☞ 第73回入学式
- 7日☞ 対面式・着任式・始業式  
体育クラス集会
- 8日☞ 休講日  
成果テスト(Ⅱ2年)
- 10日☞ 校内オリエンテーション(2・3年)  
Welcome Program(Ⅱ1・2年)
- 11日☞ LHR/健康診断・身体測定・歯科検診(2年)  
3年自宅学習日  
進路ガイダンス「学問探究」(Ⅱ2年)
- 12日☞ LHR/健康診断・身体測定・歯科検診(3年)  
2年自宅学習日
- 14日☞~17日☞ 春季特別指導(午前)
- 14日☞~17日☞ ベネッセ総合学力試験模試(Ⅲ3年)
- 17日☞ 日本大学基礎学力到達度テスト試験会場設営
- 18日☞ 学内閉鎖日
- 19日☞ 日本大学基礎学力到達度テスト(1・2年)  
3年生休講日
- 20日☞ 日本大学基礎学力到達度テスト(3年)  
1・2年生休講日
- 21日☞ 平常授業開始  
短縮授業
- 22日☞ 休講日  
学級懇談会
- 26日☞ シェイクアウト訓練
- 29日☞~30日☞ 全統共通テスト模試(Ⅲ3年)

# 令和4年度 第70回 卒業証書授与式

第70回卒業証書授与式が、3月1日(水)10時より日本大学工学部大講堂で挙行された。工学部長、同窓会会長、後援会会長を来賓に迎え、492名が卒業した。コロナウイルス感染症の影響により大講堂で保護者が参列しての卒業式は4年ぶりとなった。卒業証書は卒業生総代として清水彩乃さん(郡山一中出身)が佐々木校長より授与され、日本大学学長賞は村上凜奈さん(郡山六中出身)、齋藤慧舟君(白河二中出身)、三瓶祐紀君(郡山二中出身)、日本大学東北高等学校校長賞は柳沼尚希君(郡山

一中出身)に授与された。現生徒会長大竹宏武君(郡山七中出身)より在校生代表送辞、前生徒会長重川晴晴君(安積中出身)より卒業生代表答辞が述べられた。式典の後、各クラスにて、担任による卒業証書授与式、皆勤賞・精勤賞・優等賞・生徒会功労賞等授与式が行われた。また、3年生のフロアには後援会によるバルーンアートが鮮やかに飾られ、卒業の門出を祝った。最後のホームルームはどのクラスも心温まる時間となり、卒業生・担任にとって思い出深いものとなった。



卒業証書授与



日本大学学長賞(学業部門)



3組



卒業生一同



4組



7組



# 送辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、阿武隈川の水面にやわらかな日差しが煌めき、春の訪れを告げています。今日のよき日に、新たな世界へ巣立ちゆく卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同を代表し、お祝い申し上げます。二年前入学したばかりの私たちを優しい笑顔で導いてくださった先輩方の姿を今でも鮮明に覚えています。年が一つしか変わらないだけなのに、先輩方の背中には大きく見えました。

最も身近な存在で、最も憧れの存在でした。「アカシヤ祭」では各クラスで工夫を凝らしたクラス企画や仮装で盛り上げてくださり、体育祭では、クラス一丸となり、全力で競技に取り組まれている姿やクラスメイトを応援している様子に深い絆を感じました。進路決定においては、大切な高校三年間を制限と共に送られ、心苦しさを、やりどころのない思いを持ちながらも自らの進路に向けて努力していらっしゃいました。放課後、教室の灯りが最終下校時刻まで消えることはなく、自習室では連日満席になるほど努力する、その姿を見て、先輩方の熱意と姿勢に感動していました。また目標に向かって努力することの尊さや厳しさを思い知り、次は自分たちの番

なのだな、と身が引き締まる思いも同時に教えられました。今日、この日をもって先輩方は自らの夢を叶えるため、この学舎を離れます。夢を実現することは簡単な道のりではなく、新しい環境に不安になったり、様々な困難や壁にぶつかることもあると思います。

しかしこの日大東北高校という「心のふるさと」の存在と三年間共に学び、笑い、困難を乗り越えた仲間との絆は先輩方の力になるはず。どうかそれぞれの場所で自分の無限大の可能性を信じ歩み続けて下さい。

そして遠くから私たち後輩にエールを送って下さい。もうこの学舎では先輩方のお顔を見ることができなと思うと寂しさと不安な気持ちでいっぱいです。しかし来年度からは先輩方の後を受け継ぎ「自主創造」の精神と伝統をしっかりと継承していくことをここに誓いいたします。最後になりましたが卒業生の皆様のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和5年3月1日  
在校生代表 大竹宏武



在校生代表送辞



卒業生代表答辞

# 答辞

春らしい陽ざしを感じる季節となりました。本日は、教職員の皆様並びに、御来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席の下、このように盛大な卒業式を催していただいたことに、卒業生一同心より御礼申し上げます。

私たちが真新しい制服に袖を通したのは、コロナウイルス感染症が世界を覆いはじめた、まさにその時でした。休校や学校行事の中止、リモートでの配信授業など、思い描いていた高校生活とは大きく異なり、大きな不安に苛まれたことを今でも覚えています。しかし、コロナ禍の高校生活は「日常」について考える機会を生み、私たちは今までの日常が当然のものではないということを感じることができました。

振り返ると、高校生活三年間は瞬く間に過ぎていきました。その中で、私たちは先生方のご指導のもと、多くの知恵を得ました。それは、未来を創り、選ぶ力であり、これからの人生を生きる術でもあります。特に、志望校選択や大学受験対策では、熱心に指導していただいたことよって、自分自身を見つめ、向き合い、更に成長することができました。いま、この場に立ち、未来の入口を見据えることができるのも、教職員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

私たちは高校生活を通して、かけがえのない多くの友人を得ました。文化祭や修学旅行などの行事で絆をさらに深め合ったことは、強く心に残っています。また、受

験が迫るなか、自学室で頑張る友人の姿は私たちに大きな勇気を与えてくれました。友人と勉学に勤しんだ時間は私にとって何物にも代えがたい宝物です。卒業に際して喜びを感じる一方で、友人との別れに寂しさを感じずにはられません。

私はこの日本大学東北高校で、「誰かに決められたレールの上をただ漠然と進むのではなく、自分がしたいことを見つけ、自分が主体となり成し遂げる」ことの大切さを知りました。私たちが明日から羽ばたく社会ではその力が問われます。自己を確立し、今まで得た経験を活かしながら、夢に向かい試行錯誤をしながら進んでいきたいと思えます。

先ほど、校長先生をはじめ、御来賓の皆様、在校生から、大変温かいお言葉をいただきました。皆様からいただいた言葉を胸に刻み、これからの人生を邁進していきます。

最後になりますが、私たちがこうして卒業の日を迎えることができたのは、いつも暖かく見守り、支えてくれた家族のおかげです。本当にありがとうございました。今後もご迷惑をおかけすると思いますが、よろしく願います。

あらためて、私たちを支えてくれた皆様に感謝と敬意を示すとともに、日本大学東北高校のさらなる発展を祈念し、答辞といたします。

令和5年3月1日  
卒業生代表 重川 柊 晴



同窓会三世代賞



アカシヤ会学業努力賞



アカシヤ会スポーツ・文化功労賞

# 初めての卒業式を終えて



3年7組 担任 大久保孝洋先生  
卒業式が終わり、ひんやりとした空気の静かな教室で、生徒たちと過ごした日々を思い返しています。

彼らとの出会いは2年前。初めての担任として、期待と不安に包まれながら教室の扉を開けました。中に入ると、緊張した面持ちで座る緑色のネクタイ、リボンを身に付けた生徒たち。2年次から突然この学年に担任として入った私に彼らがたくさん声を掛けてくれたことが、大きな支えになりました。そこから、瞬く間に時は過ぎ卒業式を迎えました。我々の想像をはるかに超えるスピードで成長してゆく姿。わずか2年という限られた期間ではありますが、見違えるほど大人になっていく様子に驚く毎日でした。担任として、一生に一度しかないかけがえのない高校3年間に関わったこと、人生の岐路に立たされ大

きな選択に迷う生徒たちに寄り添えたことは、教員冥利に尽きます。

高校を卒業して7年。こんなにも早く担任という立場から生徒を送り出すことになるとは思ってもみないことでした。大学卒業後、地元を離れ教職に就き、苦労したことも多くありましたが、それぞれが志した夢に向かって走り出す生徒たちを送り出すことができたことを大変光栄に思います。このようにして生徒とともに成長し、無事に卒業式を終えることができたのは、たくさんの支えがあったからです。保護者の皆様、教職員の方々にも心より感謝いたします。この貴重な経験を糧に、これからは生徒にとって一生に一度の大切な高校3年間に残り続け、少しでも良い未来が切り拓くことができるように全力でサポートしていきます。

最後に、3年生の皆さん卒業おめでとうございます。自分の得意分野を極めて、いつまでも輝き続けてください。

# 各賞受賞者

( )は出身中

日本大学学長賞 (学業部門)	
村上 凜奈 (郡山六)	
日本大学学長賞 (体育部門)	
齋藤 慧舟 (白河二)	三瓶 祐紀 (郡山二)
日本大学東北高等学校校長賞	
柳沼 尚希 (郡山一)	
優等賞	
佐々木秀弥 (守山)	根本 穂波 (小野)
草野 陽琉 (郡山七)	渡邊 百香 (三春)
西澤 由莉 (郡山三)	弓田 空 (郡山一)
猪狩 美波 (安積)	佐藤 海 (宮城)
高松 真宏 (郡山五)	増子 哲平 (富田)
朝田 萌衣 (郡路)	安田 俊治 (郡山六)
緑川 詩穂 (棚倉)	箭内 亮雅 (須賀川一)
清水 彩乃 (郡山一)	宗像 陽佳 (安積二)
熊谷 帆高 (須賀川一)	佐藤 美咲 (郡山一)
三瓶 祐紀 (郡山二)	米川 由真 (岩江)
江花 優 (郡山三)	前田 花音 (富田)
國分 陽菜 (本宮二)	宮島 尚汰 (郡山一)
香西 凜明 (守山)	小松 莉子 (郡山七)

日本私立中学・高等学校連合会会長賞	
重川 柊晴 (安積中)	

福島県私立中学・高等学校保護者会会長賞	
山寺 理子 (郡山四)	

同窓会三世代賞		
安部 康大 (1組)	陰山 弘暉 (2組)	高橋 優美 (2組)
遠宮 綾乃 (3組)	渡辺 里奈 (3組)	吉田 祥真 (8組)
榎本 理沙 (13組)	相樂 一誠 (13組)	

アカシヤ会学業努力賞		
今井 太一 (1組)	菊池 聖真 (1組)	有田 卓生 (4組)
大内 心 (4組)	禹 穰熙 (5組)	和泉 里奈 (10組)
岩崎 航大 (11組)	篠原 諒 (11組)	高橋 柊 (11組)
柳沼 尚希 (11組)		

アカシヤ会スポーツ・文化功労賞		
菊池 聖真 (1組)	齋藤 慧舟 (1組)	佐藤 武蔵 (1組)
佐藤 唯 (1組)	佐藤 優成 (1組)	田中 凜葵 (1組)
根本 穂波 (1組)	橋本 羽奈 (1組)	星 友哉 (1組)
箭内 気吹 (1組)	山下日南太 (1組)	上野 遥都 (2組)
大槻 真子 (2組)	大森陽歌里 (2組)	神野 雅 (2組)
岩谷 菜穂 (3組)	面川 未来 (3組)	佐藤ひかり (3組)
佐藤 美羽 (3組)	澤井亜美花 (3組)	先崎 宇音 (3組)
小砂子菜月 (4組)	柳沼 凜花 (5組)	佐藤 匠 (6組)
増子はる菜 (6組)	赤松 昌 (7組)	緑川 詩穂 (7組)
石井さくら (8組)	鈴木 良輔 (8組)	千木崎華代 (9組)
穂積 美晴 (9組)	酒井 里風 (10組)	三瓶 祐紀 (10組)
鈴木 滉大 (10組)	増子 琴子 (10組)	水野谷 輝 (10組)
國分 純 (11組)		

その他、皆勤賞が63名・精勤賞130名・生徒会功労賞54名・生徒会努力賞32名が受賞。

# 同窓会表彰

## Topics

### 令和4年度 日本大学附属高等学校等 第39回文芸コンクール

#### 俳句の部

受賞名	学年・組	氏名
佳作	2年14組	増子 結香

#### 詩の部

受賞名	学年・組	氏名	学年・組	氏名
佳作	2年14組	三島木美鈴	1年10組	迎 彩花



左から増子さん(郡山一中出身)三島木さん(長沼中出身)迎さん(石川中出身)

**俳句**  
夜桜や母の術後を凜と待つ  
二年 増子 結香

**色彩泥棒**  
二年 三島木 美鈴

**ライオンとコリアン**  
一年 迎 彩花

他の鳥の羽の色など  
夏に輝く若葉の色など  
私の翼で吸い込んでやる  
黒い翼で吸い込んでやる  
色を羽にしまったら  
遠くの方へ逃げるのだ  
旅をしながら逃げるのだ  
羽と羽のわずかな隙間に  
旅する大地の空気を吸い込み  
盗んだ色を  
馴染ませる

しかしこの羽は  
いつになったら変わるのだ  
どれだけ経てば変わるのだ  
今回もまた失敗したのか  
明日こそはと  
意気込んだ  
私の羽は黒いまま



## Topics

### 令和4年度 校内文芸コンクール

#### 俳句の部

受賞名	学年・組	氏名	学年・組	氏名
最優秀	2年 8組	吉田 美緒		
優秀	2年 2組	佐藤 鈴夏	1年12組	嶋崎 桃花
佳作	2年 1組	門馬穂乃華	2年 7組	小林 颯太
	2年10組	渡辺 優華	1年 6組	廣畑 馨心
	1年 8組	會田 妃南	1年12組	小林 杏奈
	1年12組	野口 叶愛		

#### 詩の部

受賞名	学年・組	氏名	学年・組	氏名
最優秀	1年11組	渡辺 雫玖		
優秀	2年14組	橋本 琴子	1年 2組	高木 美優
佳作	2年 3組	浜野和美咲	2年 3組	吉成 優奈
	2年 5組	遠藤 美空	2年 5組	渡辺愛友里
	1年 3組	赤沼 美咲	1年12組	三浦はるか
	1年13組	黒田ゆきの		

#### 短歌の部

受賞名	学年・組	氏名
最優秀	1年 2組	大木 里穂
優秀	2年11組	岩井琉輝也

#### 小説の部

受賞名	学年・組	氏名	学年・組	氏名
最優秀	1年 2組	渡邊 夢徠		
優秀	1年13組	大山 愛実	1年13組	小谷津 道
佳作	1年10組	穴戸 朋輝		

#### 読書感想文の部

受賞名	学年・組	氏名	学年・組	氏名
最優秀	1年12組	村上 沙都		
優秀	1年11組	熊田美衣那	1年13組	黒田ゆきの
佳作	2年 2組	八代 麻友	2年12組	矢吹美優里
	2年13組	磯海 瑛斗	2年13組	遠藤 風雅
	2年14組	佐藤 花凜	2年14組	吉田 和華
	1年11組	佐藤 海斗		

12/23 Fri

### クリスマスフェスタ

SAKURAホールにてクリスマスフェスタが開催された。弦楽部・合唱部・吹奏楽部が日頃の練習の成果を発表した。クリスマスにちなんだ曲が演奏され、観客は手拍子をうったり口ずさんだりしながら楽しんだ。



2/12 Sun

### 合唱部定期演奏会

須賀川文化センター大ホールにて「日本大学東北高等学校合唱団第1回定期演奏会」が行われた。3年生にとっては高校生活の集大成として、部員全体にとっては日ごろの練習の成果を披露し、支えてくれたすべての方々へ感謝を伝える機会として、思い出に残るステージとなった。



2/17 Fri

### 予餞会

卒業する3年生を送る予餞会が行われた。今年度も新型コロナウイルス感染防止により各教室においてオンラインでの実施となった。各団体作成の動画やダンスが配信され、卒業する先輩のはなむけとなった。



2/15 Wed

### 薬物乱用防止に関する講演会

1学年生徒を対象に、薬物乱用防止に関する講演会が各教室Live配信にて実施された。講師に福島県薬剤師会薬事衛生・献血啓発委員長の嶋山栄志先生をお招きし、『薬物乱用による弊害を正しく認識し、誘いを断る強い心を養おう』の演題で、薬物の依存性や恐ろしさを教えていただいた。



## Topics

### 特別優秀選手賞受賞

水泳部2年西川炎歩さん(安積中出身)が、水泳部での活動を讃えられ「特別優秀選手賞」(福島県水泳連盟)を受賞した。「第44回全国JOCジュニアオリンピック春季競技大会飛込競技女子14~15歳1m飛板飛込第2位」の功績が認められ、受賞であった。



12/17 Sat

### 福島大学サイエンスカフェ

福島大学・農学群・食農学類・平修先生と学生6名が来校し福島大学サイエンスカフェが開催された。ビタミンCの定量や酵素の不思議について、科学実験を通して理科部員・IIコースの1、2年生が学びを深めた。



教務部だより

～高大連携・地域連携教育による幅広い学び～



教務部主任 秋山 浩樹

本校では、生徒が豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となるよう、「高大連携・地域連携教育」により幅広い教養を身につける機会を設けています。3学期には①、②の事業を実施しましたので、報告いたします。

① 「ロハス探究プレゼン大会 本選」 2月15日(水)実施

10～12月にかけて、2年生Iコース理系の全生徒がグループに分かれ、日本大学工学部の先生方からアドバイスをいただき探究活動を行いました。1月以降、各グループのプレゼン発表会を行い、本選出場グループを選出しました。2月15日に本校SAKURAホールでプレゼン大会本選が開催され、各代表グループが2年理系全生徒（250名）の前で、プレゼンを行いました。1年生はプレゼン大会本選の様をライブ視聴し、先輩の活動に刺激され、探究活動に対する意欲が高まりました。

プレゼンチーム	プレゼンタイトル	受賞
土木工学科代表	除雪をせずに雪を融かせる道路や駐車場	優秀賞
建築学科代表	デザイナーズの世界	学年主任賞
機械工学科代表	二酸化炭素は燃料や私生活に活用できるのか？	校長賞
電気電子工学科代表	学校で勉強する上で大切なこと	優秀賞
生命応用化学科代表	ドラッグデリバリーシステムとは	◎ 学部長賞
情報工学科代表	フードロス無くす（フードファイターを増やすには？）	優秀賞
総合教育代表	走るのが遅い人とそうでない人の違い	優秀賞・オーディエンス賞

学部長賞「ドラッグデリバリーシステムとは：生命応用化学科代表」の探究・プレゼン概要

ドラッグデリバリーシステムとは、薬物の効果を最大限に発揮させるために、必要な薬物を、必要な場所に、必要なタイミングや期間に供給することを目指す仕組みであり、その重要性について探究・プレゼンした。

根本修克工学部長の講評より

塩酸を用いて胃の中を再現し、溶けずに胃をすり抜けることができる材料についての実験がわかりやすかった。工学（特に化学）の基本は実験であり、探究・プレゼンに実験をうまく取り入れたことが高い評価に繋がった。



② 「特別授業（Iコース3年生）」 1月12日～19日

令和4年の改正民法の施行によって成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、「消費者トラブル」や「裁判員制度」に対する理解を深めることが必要になりました。また、「多様性の尊重」を重視する現代社会においては、「国際理解」や「様々なコミュニケーション力」を身につけることが大切です。高校卒業後の社会生活が充実するよう、地域社会との連携により6つの出前講座を実施しました。



特別授業名	講師の先生方の所属先
消費者トラブルに巻き込まれないために	消費者生活センター
手話講座	NPO法人 郡山市聴力障がい者協会 郡山市手話通訳者
裁判員制度	福島地方裁判所郡山支所
JICA海外協力隊経験者のはなし	郡山市役所
歯と健康・食生活について	郡山市保健所健康づくり課
考え方のクセを知ろう	郡山健康科学専門学校



令和4年度卒業生進路状況(合格者数)



令和5年3月9日現在

日本大学合格者数

学部\受験方法		付属推薦等				一般入試等					総計 (455名)	前年度 (440名)		
		基礎 学力	付属特別 枠あり	枠なし	国公立 併願	追加 試験	公募 指定校	総合型 選抜	校友子女 スポーツ	共通テ			一般	その他
法	1部	5	5								11		21	14
	2部	1	1								2		4	1
文理		12	3					2	1		9		27	26
経済		9	6					1			7		23	13
商		4	8						1		5		18	13
芸術		2		2							2		6	4
国際関係		3	4								8		15	9
危機管理		2	1										3	2
スポーツ科				1									1	2
理工		12	13		1						12		38	53
生産工		6	5		1						10		22	26
工		30	44		2			2			8		86	108
医													0	0
歯											1		1	0
松戸歯											1		1	0
生物資源科		10	8								2		20	20
薬		1											1	3
短期大		4											4	1
通信教育													0	0
専門学校								5					5	1
計		101	98	3	4	0	6	4	2	0	78	0	296	296

他大学合格者数

校種\受験方法		推薦入試				一般入試等					総計	前年度		
		公募	指定校	スポーツ	AO・自己	校友子女	共通テ	一般	前期	中期			後期	その他
国公立	4年制	14			1				24			1	40	41
	短期											2	2	1
他私立	4年制	8	82	2	30		34	68				1	225	182
	短期	2	10										12	10
計		24	92	2	31	0	34	68	24	0	0	3	279	234

専門学校合格者数

男子	女子	計	前年度
16	30	46	41

就職内定者数

男子	女子	計	前年度
5	1	6	1

合格大学

国公立大学等									
山形大学	7	福島大学	14	宮城大学	1	福島県立医科大学	5	東京都立大学	1
新潟県立大学	1	会津大短大部	1						
私立大学（四年制）									
東京理科大学	4	明治大学	2	立教大学	1	中央大学	5	青山学院大学	1
法政大学	2	同志社大学	2	明治学院大学	3	成蹊大学	2	東京薬科大学	2
芝浦工業大学	3	東京女子大学	1	東京農業大学	1	専修大学	5	東洋大学	6
獨協大学	4	石巻専修大学	2	仙台大学	5	東北学院大学	14	東北福祉大学	3
東北医科薬科大学	2	宮城学院女子大学	1	仙台白百合女子大学	1	東北文化学園大学	4	東北芸術工科大学	3
医療創生大学	3	奥羽大学	1	郡山女子大学	1	福島学院大学	6	つくば国際大学	1
流通経済大学	1	足利大学	1	国際医療福祉大学	6	白鷲大学	8	群馬パース大学	2
城西大学	5	駿河台大学	2	東京国際大学	2	文教大学	2	目白大学	2
浦和大学	1	日本医療科学大学	3	江戸川大学	1	神田外語大学	1	国際武道大学	1
淑徳大学	3	城西国際大学	3	聖徳大学	1	千葉工業大学	1	千葉商科大学	3
中央学院大学	1	東京情報大学	1	桜美林大学	2	北里大学	2	工学院大学	3
国学院大学	1	実践女子大学	1	順天堂大学	4	昭和女子大学	1	聖路加国際大学	1
高千穂大学	1	拓殖大学	1	玉川大学	6	津田塾大学	1	帝京大学	1
東海大学	1	東京家政大学	3	東京工科大学	4	東京女子体育大学	1	東京電機大学	1
東邦大学	1	二松学舎大学	1	日本体育大学	2	東京都市大学	1	武蔵野大学	4
武蔵野美術大学	1	立正大学	1	デジタルハリウッド大学	1	東京未来大学	1	ヤマザキ動物大学	1
神奈川大学	7	鎌倉女子大学	1	関東学院大学	2	産業能率大学	1	昭和专业大学	1
桐蔭横浜大学	2	東洋英和女学大学	1	新潟医療福祉大学	5	金沢工科大学	2	帝京科学大学	1
健康科学大学	1	愛知工科大学	2	龍谷大学	2	近畿大学	3	宝塚医療大学	1
私立短期大学									
郡山女大短大部	6	桜の聖母短大	4	福島学院大短大	1	佐野日本大短大	1		

# 学年だより

1  
学年

1学年主任 川野 貴光



## 生徒の活躍

1年12組の稲見華さんが、福島県環境創造センターが主催する、ふくしまナラティブ・スコラ2022に参加しました。

今年は19名の高校生が、6月から9回にも及びワークショップを経て、さまざまな経験をもつゲストとの交流をもち、「自分の伝えたいこと」について探究し、1月7日にけんしん郡山文化センターで自分の思いを発表しました。

社会に目を向けると、様々なボランティア活動・国際交流活動といった応募を目にすることができます。このような活動をしてみたい!と思ったら、遠慮せず、どんどん積極的に行動してほしいと思います。学校の授業だけでは得られない経験を積むことができるはずです。

4月から、2学年になり、高校生活になれ余裕も出てくるでしょう。自分の可能性を広げるために、自発的な活動をして欲しいと思います。

最後に、稲見さんからこの企画に参加しての感想をもらいましたので紹介します。

## ふくしまナラティブ・スコラ2022に参加して

1年12組 稲見 華 (郡山ザベリオ学園中出身)

福島県内の高校生がメンバーとなって、震災とふくしまの復興の歩みを学び、自分の想いをプレゼンテーションにまとめ、それを発表する活動を行いました。その活動を通じて、他校・他学年の友人を作ることで、多様な価値観に触れました。また、震災当時の福島や原発のこと、分かりやすいプレゼンの作成方法などを学ぶことができました。

最後は、多くの人前で発表することで自信も生まれ、貴重な経験を積みました。日頃の生活にも活かせることが多く、参加して本当に良かったと思います。



稲見さんやその他の高校生のプレゼンテーションの様子は、ふくしまナラティブ・スコラ2022のホームページで観ることができます。素敵なプレゼンが多いので、是非ご覧になってください。

2  
学年

2学年主任 松崎 一寿



## いよいよ受験シーズン到来

3学期期末試験が終わり、2年生の成績が決まりました。成績通知票がご自宅に郵送されますので、ご確認ください。ご不明な点がございましたら、学校へお問い合わせください。

さて、いよいよ高校最終学年になります。ご家庭で進路のお話もされているかと思います。4月20日(木)に基礎学力到達度テストが行われます。日本大学に内部推薦で進学するために必要なテストになります。日本大学進学を目指すお子さまは勿論のこと、日本大学以外を目指すお子さまも、基礎学力を定着させる意味で、真剣に受験していただきたいです。このテストに向けた取り組みとして、3月の特別授業、4月の特別指導があります。ただ、学校の授業だけでは補えない部分もございますので、家庭学習が非常に大切になります。春休み中に取り組みすべき内容を、国語、数学、英語を担当している教員からアドバイスが出ております。是非、これまでの生活スタイルから、少し受験を意識した生活スタイルにシフトチェンジし、この春休みから、受験に向けた取り組みを始めてください。また、不明な点がございましたら、学校にご連絡ください。先日の教育講演会でもお話をさせていただきましたが、年内に受験を考へるご家庭には、受験スケジュールをたてていただきたいです。就職にしても、専門学校受験にしても、いつ出願なのか、いつ試験日なのか、いつ合格発表なのかを確認していただくことで、まずはご家庭で共通理解を図ってください。スケジュールをご家庭で共有していただくことが、受験に向けた取り組みの一歩かと思ひます。

次年度もすべての生徒が全力を出し切れるよう、保護者の皆様と協力し、学年会全員でサポートさせていただきたいと思ひます。今年度も、本校の教育活動に対してご協力、ご理解をいただきまして、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

令和4年度

# 検定試験結果

## 漢字検定

		準2級	2級	合計
第1回	受験者数	23名	27名	50名
	合格者数	9名	4名	13名
第2回	受験者数	23名	5名	28名
	合格者数	12名	0名	12名
第3回	受験者数	21名	14名	35名
	合格者数	8名	2名	10名

漢検は、漢字を「読む」「書く」という知識量だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力も測ることができます。社会人としての基礎基本となる漢字・語彙能力を鍛え、これらを通して物事を考える力を身につけるためにも、積極的に挑戦してみましょう。

## 英語検定

		3級	準2級	2級	合計
第1回	受験者数	26名	89名	99名	214名
	合格者数	19名	48名	20名	87名
第2回	受験者数		44名	55名	99名
	合格者数		17名	9名	26名
第3回	受験者数		43名	44名	87名
	合格者数		29名	8名	37名

## 数学検定

		3級	準2級	2級	準1級	合計
第1回	受験者数	14名	26名	12名	1名	53名
	合格者数	12名	8名	3名	1名	24名
第2回	受験者数	1名	14名	7名	2名	24名
	合格者数	1名	7名	2名	0名	10名

数学検定は基礎レベルの一次試験と応用レベルの二次試験があり、自分の実力を知る上でも大変良い目安となります。数学が好きな生徒は2級以上、そうでない生徒でも準2級以上の合格を目標に取り組みすることで基礎学力の定着に結びつくものと考えています。特に、今年度は第1回において準1級合格者が出ており本校における今後の励みになりました。

本校は工学部の併設校であり、工学部においても「数学力」は必須です。できるだけ多くの生徒にチャレンジしていただき、是非この「数学力」を磨いてほしいと思います。

今年もたくさんの生徒の皆さんに英検を受検していただきました。英検に合格するためには、どの級であっても4技能(Reading, Listening, Writing, Speaking)の力が試されます。試験の結果を分析すると、作文(Writing)の点数が伸び悩み、一次試験を突破できない人が年々増えてきているように思ひます。英作文力を上げるためには、書く→添削→書くを繰り返すことだと思ひます。書いたら英語の先生に見てもらおう、など次回のチャレンジのために、勉強方法を見直してみてください。

# クラブ活動の記録

県大会については3位以上を掲載  
東北大会については入賞者、全国大会については出場者を掲載  
( )は出身中

## 全国高等学校柔道選手権大会福島県大会

柔道部 [福島トヨタクラウンアリーナ: 11/29~12/1]

男子個人 3位 鈴木 廉司 (須賀川)

## 女子第33回東北高等学校駅伝競走大会

陸上競技部 [秋田県大湯村役場発着コース: 11/10]

駅伝 8位 山口ありす (郡山五) 近藤 美憂 (西郷二)  
橋本 琴美 (西郷二) 安齋 響 (二本松二)  
滝深 心咲 (棚倉) 嶋原 和心 (東和)  
橋本 瞳 (西郷二) 嶋崎 桃花 (白河二)

## 第30回東北高等学校体操競技新体操選抜大会

体操部 [あづま総合体育館: 11/25~11/26]

男子団体 6位 本田 悠馬 (緑ヶ丘) 古川 空琉 (郡山三)  
渡部 琉成 (郡山三) 若林 海青 (西郷第一)  
女子団体 7位 大和田歩華 (緑ヶ丘) 佐藤 杏 (郡山一)  
川崎 瑞歩 (片平) 小檜山萌花 (郡山六)

## 全国高等学校選抜大会東北北海道ブロック大会

ライフル射撃部 [秋田県総合射撃場: 12/16~12/17]

BR60J 2位 鈴木 志門 (矢祭)  
BP60J 1位 須藤 巧 (棚倉)

## 第27回全国混成競技大会

陸上競技部 [愛知県パロマ瑞穂陸上競技場: 11/12~11/13]

高校男子八種競技 2位 三瓶 祐紀 (郡山二)

## 元日女子相撲日本一決定戦

相撲部 [立川立飛アリーナ: 1/1]

軽量級 出場 関下 爽夏 (鶴ヶ岡)

## 第37回全国選抜高校相撲弘前大会

相撲部 [青森県立武道館: 2/11]

団体 出場 工藤 心暖 (坂下) 國分 夏 (三穂田)  
佐藤 悠佑 (蓬萊)  
個人 ベスト8 佐藤 悠佑 (蓬萊)  
出場 工藤 心暖 (坂下)  
出場 佐藤慎之助 (坂下)  
出場 國分 夏 (三穂田)

## 令和4年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部 [福井県立ライフル射撃場: 3/24~3/26]

AR60J 出場 鈴木 志門 (矢祭)  
BP60J 出場 須藤 巧 (棚倉)

# 青空だより

## No Rain, No Rainbow



相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充

本気で何かを目指すと言うことは、うまくいかないかもしれない“不安”と向き合うことでもあると思います。

絶対に失敗しない道、というのはそもそもどこにもないのですが、失敗するかもしれないリスクを冒してでもどうしてもその道を進みたくあることあると思います。大人は、その道は危ないから行かない、と思うし、どうしてもそっちに行くんだったら道をならしてやりたいとも思いますが、でもやっぱり、自分の道を切り拓くのは自分自身だし、不安に直面しながら、自分で自分を勇気づけるしかないのだと思います。

私も自分自身を振り返ったときに、だいぶ危ない道を選んだり、立ち止まってしまった時があったなあと思い起こします。もしやすると、霧の中の細い道を手探りで進むの

が生きることなんじゃないかと思えてきます。足を踏み外そうものなら谷底にも転げ落ちそうな剣が峰を、そうとは知らずに私たちは歩いているのではないのでしょうか。だから野となれ山となれと言いたいわけではありません。まさに五里霧中のなかを一步一步歩いてきて、いまここに生きていることをそれぞれに感謝したらよいと思うんです。

不安で眠れなくなった夜、「明けぬ朝はない」と思い起こしましょう。雨ばかりが続いても、雨が降らなければ虹は出ない (No Rain, No Rainbow) 、辛いことのあとにはきっと良いこともあるとのハワイの諺も思い起こしましょう。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

生徒支援室 電話024 (956) 8852 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) 電話024 (956) 8850

# 退職・新任教職員紹介

## 退職職員



添田 恒夫【国語科】

勤務期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：5年  
当初から、65くらいまでと考えておりましたので、潮時か。ところで、私は伊能忠敬を心から尊敬しています。私もこれから何が出来るか。手始めに旅に出たいと考えています。そしていずれは、世界放浪へ。楽しい5年間でした！



鈴木 菜月【数学科】

勤務期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：3年  
冒険と数学の問題は似ていると思います。冒険といっても、日々の中で「変化」や「不変」を見つけていく「人生」という名の冒険です。この冒険の先で日高で出会った貴方との再会を楽しみにしています。



佐藤 完太【地歴公民科】

勤務期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：2年  
日大東北のOBの一人としてこの学び舎にもどり、たくさん生徒と共に成長できたことを誇りに思います。2年という短い間でしたが、本当にありがとうございました。



小林 美智子【事務課】

勤務期間：平成29年2月1日～令和5年1月31日  
勤続年数：6年  
皆様に出会えた事に感謝しております。これからは、別の立場で日大東北高校を応援していきたいです。



田宮 知子【国語科】

勤務期間：令和元年4月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：4年  
教職を離れていた時期もあり、赴任当初は不安で一杯でしたが、先生方と生徒の皆さんの温かさに恵まれ、支えられて今日までやってこられました。ありがとうございました。



八巻 淑子【国語科】

勤務期間：令和2年9月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：2年5か月  
明るく礼儀正しい日高生との授業はとても楽しかったです。老親の介護のため退職しますが、みなさんのご活躍を陰ながら応援しております。どうぞお元気で。



伊藤 遼【英語科】

勤務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日  
勤続年数：1年  
実力も経験も足りない私の授業を受けていた生徒たちのことを考えると申し訳なく思いますが、それでもついてきてくれてありがとうございました。先生方、生徒たちから学んだことを活かして新天地でも頑張ります。



伊藤 靖子【事務課】

勤務期間：令和2年3月23日～令和4年12月31日  
勤続年数：1年9か月  
みなさんと直接関わる機会は少なかったですが、廊下ですれ違う時に挨拶をしてくれたり、荷物を運ぶのを手伝ってくれたり生徒のみなさんの優しさにたくさん助けられました。ありがとうございました。

## 新任職員



柳沼 ひろみ【事務課】

令和5年1月10日～  
明るく元気に一生懸命をモットーに、日大東北高校の一員として頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



渡辺 詩織【事務課】

令和5年1月10日～  
綺麗な校舎・図書館で働くことができ大変光栄です。読書の楽しみ・魅力を伝えていけたらと思います。みなさん、お気軽に図書室にお立ち寄りください。不慣れなところもありますがどうぞよろしくお願いいたします。

## 編集後記

本誌発行119号となりました。今年度は卒業証書授与式が4年ぶりに大講堂で行われました。荘厳な雰囲気の中、492名が巣立っていきました。保護者の皆様が見守る中退場する卒業生の姿に、新しい時代を担っていく頼もしさを感じました。おめでとうございます。発行にあたり多くの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。



## 新校舎で学んだ生徒の卒業式を終えて

学校長 佐々木 稔



新しい春への躍動が感じられた3月1日、第70回卒業式が工学部大講堂において、約1000名の保護者をお迎えして盛大に執り行われました。緑色のネクタイ・リボンを身にまとう492名の卒業生は、厳粛な中にも心あたたまる式典に臨み、栄えある卒業証書を授与されました。このコロナ禍の中で、ようやく保護者の皆様を会場にお迎えし、一同に会する形で晴れの門出を祝福できましたことは、我々教職員にとりましても、この上ない喜びとなりました。

今年の3年生は、新時代「令和」になってから本校が迎えた初めての生徒でした。新時代の幕開けにふさわしく校舎も新築され、3年間を真新しいフロアで過ごした最初の学年でもありました。また建物だけではなく、学びの方法も劇的に変わりました。歌人石川啄木や、詩人宮澤賢治の時代から約百年間、ほとんど変わることがなかった黒板とチョークの授業は、新校舎の完成とともに、電子黒板とiPadを用いた、ICTを中心とする学びになりました。この学年はまさに、令和という時代の幕開けとともに、新しい学びをスタートさせた学年であったと言えます。

新型コロナの流行もあり、入学早々に休校措置、そしてオンラインによる授業が展開されたのもこの学年でした。そのような中スタートした新時代「令和」も、もう5年目です。「令和」の時代は、平成以上に大きな変革が起こることは間違いありま

せん。卒業生の皆さんには、どうかこの変革の時代を、日大東北で培った学びと体験を礎として、力強く生き抜いてほしいと思います。

もうひとつ忘れてはならないのは、この卒業生は、在学中に「旧校舎」の最後を見届けた学年であったということです。入学したときには、白く細長い旧校舎が残されており、解体作業が進められていました。クラスによっては、授業の最中にブルドーザーやショベルカーが窓の真横にとり、今にも教室の中に重機が飛び込んできそうに見える日もありました。その旧校舎は、およそ60年の長きにわたり本校の歴史をみつめてきましたが、今、その役目を終えてすべて解体されました。旧校舎を見届けた最後の学年は、古い校舎で学んだ多くの諸先輩の思いや伝統を引き継ぐことでしょうか。あらためて、ご卒業おめでとうございます。

学校教育の現場にも、大きな影響をもたらした新型コロナウイルスは、間もなく季節性インフルエンザと同等の「5類相当」に引き下げられます。この3年間、始業式や終業式などはすべてリモートで行われてきましたが、令和5年度の学校生活については、少しずつ対面の場を増やしていく考えです。感染対策に留意しつつも、正常な学校生活が展開され、学校全体が明るく成長躍進することを心から願っております。